

## デンソー山岳部 2013年 春山合宿報告書（Aパーティー）

山城 中央アルプス 越百山～仙涯嶺～南駒ヶ岳～空木岳～檜尾岳

日程 平成25年4月27日～4月30日（予備日1日）

メンバー 吉田 明和（CL、渉外）、小田 修三（SL、装備）、亀山 誠（監督、会計）、西尾 隆宏（気象、記録、食糧）



仙涯嶺（手前）と南駒ヶ岳（奥）

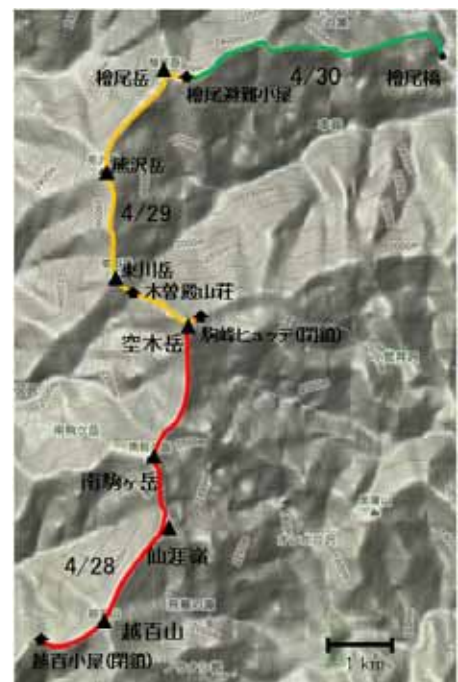
第1日： 4/27（土） 小雪後曇り

【行動記録】 歩行＝6H50M

起床（5：00）— 登山口（7：05）— 4合目（9：09）

— 越百小屋（13：55）

前日の夜は道の駅大桑の第二駐車場にテントを張った。起床した際には小雨がちらついていたが、車で登山口まで移動すると雪に変わっており、小雪がちらほらと降る中スタートした。初日はA隊とB隊は行動を共にするため、B隊が先に出発しそれにA隊が後方から追従する形をとった。登山開始してから程なく、ほとんど雪もやんでしまい、地面の雪はうっすらと積もっている程度である。総勢15名が連なって登って行く様子はなかなか見ごたえがあるなあと思った。休憩を挟みながら4合目の尾根上に出るまで約2時間を要した。尾根にでてからは少々雪も増えてきたが、しっかりとしまっているため歩きやすい。途中から急登になって



縦走路概略図

きて、雪道になれない隊員は少々苦戦しているようにも見えたが、全員確実に歩を進めながら登って行く。しばらくすると急登も抜け、正面には明日登る雪をまとった越百山が見えてきた。明日からの縦走に想いを馳せつつ、越百小屋付近にエスパース、V6、V8を張り、テントの中で乾杯した。(記;小田)

第2日 : 4/28(日) 晴れ 歩行=10H30M

【行動記録】 起床(4:00) — 越百小屋出発(6:00) — 越百山(7:05) — 仙涯嶺(8:15) — 南駒ヶ岳(12:40) — 空木岳(16:10) — 駒峰ヒュッテ(16:30)

4:00起床、餅入りうどんを食べて6:00出発。越百山までは雪尻に気をつけながら稜線沿いを気持ちよく歩く。7:05越百山山頂着。仙涯嶺までは風は強いが順調に進む。仙涯嶺下りから稜線沿いの岩場が険しくなる。視界を遮る岩近くまで行って見降ろさないと下の様子が確認できないため、ルートファインディングが楽しい。ピーク手前で分かりにくい箇所があるが、コルを降って巻いたところに一部雪を被っている鎖を見つけ、そこまではクライムダウンする。そこから先は岩場の上に付いた不安定な雪の上のトラバースとなるため、ロープを出して進む。9:30一息ついたところに、仙涯嶺に到着したB隊からの声が。写真を撮ってもらう。さらに稜線沿いに向かって歩こうとするが、やはり険しい。懸垂支点と思われる捨て縄があったが、今回は少し下って雪斜面をトラバースした。この時も急斜面のトラバースであったため、本日2回目のロープを出した。氷の上に雪が載っている状態で、足元も安定せず通過に肝を冷やした。ルートファインディング、ロープワークの手際があまり良くなかったせいか、仙涯嶺を越えるのに時間を大分取られてしまった。天気の良い日もあってなんとか通過できたが、天候次第では通過に困難が予想される要注意箇所である。南駒ヶ岳登りは、下から観察するといくつかルートが考えられたが、夏の登山道に沿った正面の岩稜ルートが簡単だったかと思う。上部では雪面のある右から回り込み頂上へ12:40。振り返ると仙涯嶺の堂々とした山容が目を引く。南駒ヶ岳下りも急登でまだまだ気が抜けない。途中、かなり急斜面になるが、稜線沿いの雪の上にハイマツが出ている部分があり、その上を慎重に降りた。降りた後は空木岳至るまで特に険しいところはない。ただ、登山道の一部で岩が露出していたりして、かなり歩きにくい。疲労もあって遅れを取り戻すほどスピードは出ず、16:10にようやく感動の空木岳山頂へ。空木岳直下にある駒峰ヒュッテは閉鎖中なため、隣にテントを設営し、本日の行動を終了した。(記:西尾)



空木岳山頂にて

第3日 : 4/29(月) 晴れ

【行動記録】 歩行=6H48M

起床(4:00) — 駒峰ヒュッテ出発(6:10) — 木曾殿山荘(7:51) — 東川岳山頂(8:55) — 熊沢岳山頂(10:27) — 檜尾岳山頂(12:39) — 檜尾小屋着(12:58)

4:00に起床し、朝食のうどんを食べて6:10に出発した。駒峰ヒュッテから空木岳山頂へ登り返し、木曾殿山荘に向けて下る。急斜面の岩場下りが続き、滑落するかもという緊張する場面が何度かあったが、やがて岩場もなくなり夏道を楽々と下る。木曾殿山荘に到着、気温も上がり暑くなったためここで薄着と

なった。ここから東川岳山頂へ向けて登りが続く。昨日までの疲れが影響し足取りが重い。こまめにトップを交代し登っていく。1時間弱で東川岳山頂に到着、そのまま通り過ぎる。途中、1人の年配の登山者とすれ違う。10:27、熊沢岳山頂に到着する。山頂でカメラが落ちているのを発見、先ほどすれ違った年配の登山者のものと気づく。みんな疲労困ぱいの中で、亀山さんが空身で登山者を追いかけてカメラを渡しに行った。30分後に亀山さんが戻り休憩した後、再び出発した。雪庇に気を付けながら近づかないようルートを進む。やがて、檜尾岳山頂に到着する。山頂から後ろを振り返ると、出発地点の空木岳からここまで歩いたルートが見渡せ、よくこの長い距離を一日で歩いたものだと感じた。休憩後、小屋に向けて斜面を下る。斜面を利用し滑落停止の練習をするが、これが意外と楽しかった。小屋に到着、荷物を整理し宴へ。小屋から南アルプスを眺望しながらお酒と会話を楽しみ、これまでの疲れが吹き飛ばすくらい素敵な時間を過ごした。(記:吉田)



小屋のドアを開けると  
富士山と南アルプスが見える。

第4日 : 4/30(火) 雪のち雨 歩行=3H45M

【行動記録】起床(3:30)―出発(5:10)―下山(8:55)―こまくさの湯(10:00)―駒ヶ根ICバス停(13:32)―名鉄バスセンター(16:03)

檜尾避難小屋の中でテントを張っていたので快適に睡眠をとることができたが、小屋の外は夜のうちから強い風が吹いているようであった。時折、風の音と小屋が軋む音で起こされた。大矢さんの予報によると寒冷前線が日本海を進んできているとのことだったので、起床、出発をいつもより少し早めに設定した。起床して外を確認すると予報の通り、風が強く小雪が降っていた。チキンラーメンでお腹を満たし、避難小屋の中に立てたテントを手際よくたたみ、快適な空間を提供してくれた小屋に感謝しつつ出発した。視界も悪く進むべき檜尾根も見えない中、コンパスとトレースを頼りに下っていく。はじめはアイゼンなしで出発したが下り始めて少しして、やはり雪が硬いためアイゼンを装着した。時折風が強く吹いており、足を止めることもあった。標高2100Mぐらいまで下ってくると雪が雨に変化してきた。一本とりつつアイゼンはずし、カップを装着した。雨に打たれながら雪がところどころ残っている夏路を下っていった。雨の中だとやたらと道のりを長く感じてしまう。4時間弱ほどで登山口まで下り、路線バスに乗ってこまくさの湯まで移動して、雨で冷え切った体を癒すことができた。そこから高速バスのバス停に移動し帰路についた。

#### <リーダー所見>

2日目の仙涯嶺から3日目の檜尾岳にかけて、雪山の岩稜歩きとロープワークを経験し、中堅レベルにふさわしい山行となり、春山合宿の目的を達成することができた。

快晴によりルートをはっきりと見渡せたため、道に迷うこともなく予定ルートを順調に進むことができたが、2日目が約10時間、3日目が約7時間かかるほど余裕のない計画でもあった。悪天候の場合も備えて、エスケープルートや撤退地点など事前のシミュレーションはもう少しすべきだと感じた。

#### <食糧所見;西尾>

##### メニュー

1日目 夕 中華丼、味噌汁、海藻サラダ

2日目 朝 カうどん / 夕 レトルトカレー、ご飯、味噌汁、海藻サラダ

3日目 朝 カうどん / 夕 親子丼、味噌汁、海藻サラダ

4日目 朝 チキンラーメン

レトルト中心のメニューではありましたが、軽量化とともに鍋が綺麗に保てたのはうれしい。朝食には餅入りのうどんを用意したことで体力を維持できたように思う。また初日の夜は、金子さん、江頭さん、吉村さんの差し入れも有り、つまみとお酒は充実しておりました。感謝いたします。この他、春山の雪は少しゴミが多い気がしたので、小田さんが持ってきたろ過フィルターは重宝しました。

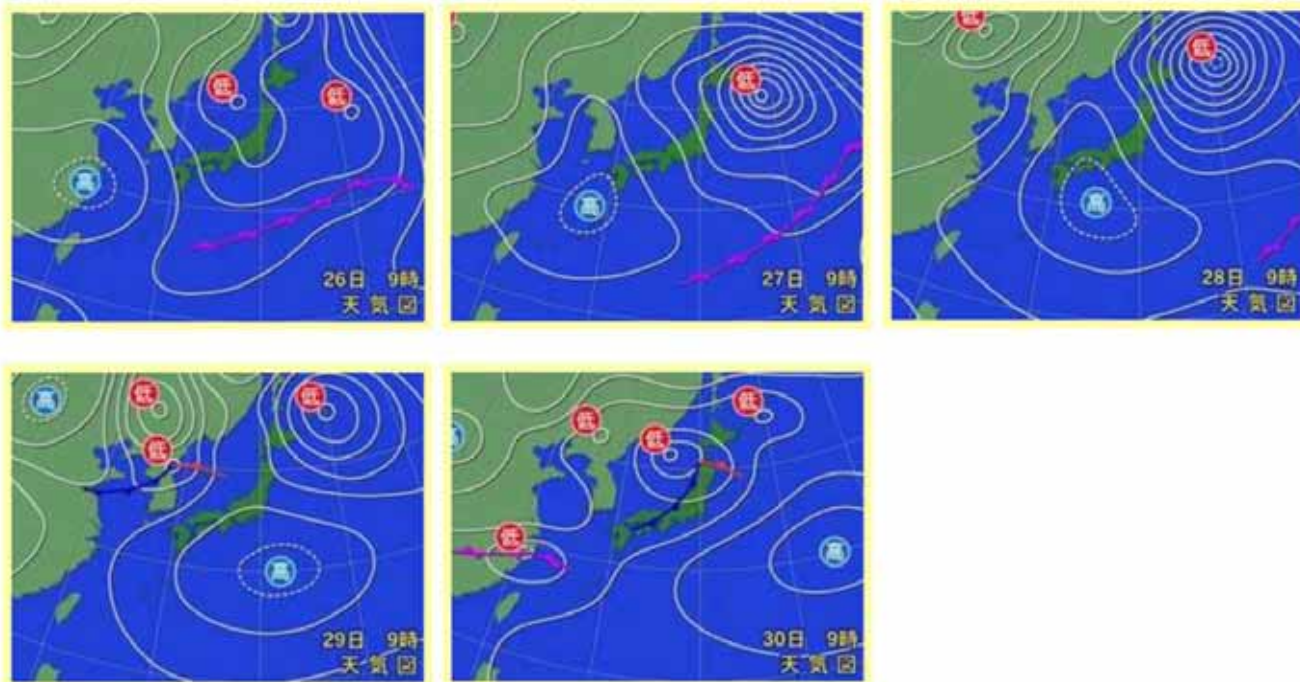
#### <装備所見；小田>

ゾンデ棒4本とビーコン1個を今回新しく購入したが、A隊、B隊すべてのメンバーに行き渡らなかった。今後買い増しが必要である。ゾンデ棒は今回カーボンのものを購入したが軽量で良かった。縦走時などに積極的に活用したい。

#### <気象報告>

- 4/27 曇時々雪 風は弱い。移動性高気圧が近づき、夕方から晴れ。  
4/28 晴れ 雲一つない快晴。昼ごろには風も弱くなり登山日和でした。  
4/29 晴れ 午後になると雲がでてきた。風はそれほど強くない。  
4/30 雪のち雨 前線の接近により頂上付近は吹雪で、時折吹く強風で飛ばされそうになる。  
2000m以下では雨だった。

以上、概ね気象担当大矢さんの予報通りでした。サポートありがとうございました。



4/26-4/30間の天気図

#### ■感想

##### 【小田】

縦走中は天候に恵まれ、気持ちの良い山行ができた。またルートも険しいところが数箇所あり、充実した山行となった。しかし天候が悪かった場合、今回のルートはかなり苦戦していたと思われる。今後も体力向上やロープワークなどの技術向上が必要であると切に感じた山行であった。すぐには難しいかもしれないが、冬にまた今回のルートを挑戦したい。

##### 【西尾】

中央アルプス南部は、個人的に足を踏み入れた事のない山域だったので、冒険しているような新鮮な感覚の登山となりました。越百～空木までは登山者と一人も出会わず、本当に奥深い山です。ルート確認をしながら、越百山下の美しい沢を見に、夏も歩いてみたいと思いました。また、今回計画通りに進められたのはメンバーが強力だったことでもあります。天候に恵まれた部分も大きいと思います。自分自身を

振り返ると、事前の情報収集、準備が不十分だったことを反省していますし、天候が悪化しても耐えられるようなロープワークの素早い動作、体力向上の必要性などを強く感じました。とはいいつつも、行ってみなければ分からないし、何かとラッキーが重なり充実した山行でした。メンバーの皆様、サポートして下さった皆様、山の神様にもこの場を借りまして御礼申し上げます。

#### 【亀山】

今春山合宿が計画通りに遂行できたのは、リーダーはじめ参加者の事前準備と安全確実な判断・行動が出来たからこそだと思います。が、好天に助けられ、また、あまり余裕があったとは言えないかなと思います。ある程度のスキルアップを図る事が出来良い合宿となりましたが、課題も顕在化したと思います。今後の山行活動で課題解決に取り組み、更に充実した山行に繋げていかれることを願っております。最後になりますが、皆さまのご理解ご協力により大変楽しく、充実した合宿となりました。

ありがとうございました！

#### <会計報告>

【費用】 一人当たり 7,550 円、(別途チャリティー200 円)

- |           |          |                                     |
|-----------|----------|-------------------------------------|
| ・食糧       | 7,450 円  | : レトルト、うどん、ラーメン、海鮮サラダ 他 (お米: 町田氏提供) |
| ・高速・ガソリン代 | 3,600 円  | : 往路 (B 隊車へ便乗)                      |
| ・高速バス代    | 10,550 円 | : 伊那 IC~名古屋名鉄バスセンター                 |
| ・バス代      | 2,200 円  | : 桧尾橋~伊那 IC                         |
| ・桧尾避難小屋   | 4,000 円  | : 避難小屋使用協力金 (プラスアルファ)               |
| ・入浴代      | 2,400 円  | : みすずの湯 (駒ヶ根高原)                     |

以上合計 **30,200 円**

【差し入れ】 金子さん: 5000 円、江頭さん: 3000 円 (宮城県のお酒・おつまみ購入)、  
町田さん: お米、ありがとうございました